

CONTENTS

特集

ホスピタリストに必要な手技

はじめに | ホスピタリストが一人ぼっちでも安全に戦えるために—— 349

●井澤 純一 沖縄県立八重山病院 内科

教育

1. シミュレーション教育と手技の関係：日本導入の鍵は「ファシリテーター」養成にアリ！—— 351

●重城 聡 SimTiki Simulation Center, John A. Burns School of Medicine, University of Hawaii at Manoa/亀田総合病院 麻酔科・シミュレーションセンター

●野木 真将 The Queen's Medical Center Hospitalist Group

[ミニコラム①] 臨床現場での手技教育のあり方：手技をどう教え、どう評価するか—— 360

●照屋 周造 沖縄県立八重山病院 内科

●尾原 晴雄 沖縄県立中部病院 総合内科

緊急気道管理

2. ホスピタリストにとっての安全な気道管理総論：押さえておきたい気管挿管のキホンとエビデンス—— 365

●高橋 仁 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 救急外来部門

3. 麻酔科医不在時に挿管困難に直面したら？：デバイスを用いたトラブルシューティング—— 377

●菅谷 明彦・船越 拓 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 救急外来部門

4. 挿管も換気も困難な症例に直面したら？：最終手段としての輪状甲状間膜アプローチ—— 393

●木庭 茂 東京ベイ・浦安市川医療センター 救急集中治療科 集中治療部門

●片岡 惇 練馬光が丘病院 総合救急診療科 集中治療部門

ライン確保

5. 中心静脈カテーテル総論：できるだけ入れず、入れるなら必ず安全に留置し手順を守って管理する—— 407

●中山 泉 沖縄県立中部病院 集中治療部

6. 超音波ガイド下血管穿刺のピットフォール：立体的な血管走行を正確に把握するための近道—— 419

●松島 久雄 獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター・救急医療科

7. 内頸静脈と大腿静脈への留置方法：手技の実際からトラブルシューティングまで—— 427

●杉木 大輔 獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター・救急医療科

8. 鎖骨下静脈穿刺の達人になろう：習熟するうえで欠かせない勘所とは？—— 441

●江本 賢・吉野 俊平 飯塚病院 総合診療科

9. 意外と難しいPICC：CVCとは異なるポイントやコツをつかむ！—— 451

●柏木 克仁 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター（感染症科）

●佐々木 陽典 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター（内科）

10. 緊急時ライン確保：外頸静脈路、骨髄路確保の手順と秘訣を中心に—— 461

●糟谷 智史・坂本 壮 国保旭中央病院 救命救急科

11. 末梢静脈路確保：特別器用でない人が、より高率に、より安全なルート確保・管理をするための戦略—— 469

●森 寛行 兵庫県立丹波医療センター 内科

12. 動脈穿刺と動脈ライン確保：重症患者、周術期患者の管理における必須の手技—— 477

●平瀬 優三 国立循環器病研究センター 心臓血管内科/沖縄県立八重山病院 内科

●井澤 純一

胸腹腔穿刺・ドレナージ

13. ① 胸腔穿刺（診断）：漏出性と滲出性を区別し、鑑別を想起して検査項目を選択する—— 487

●樋口 直史・八重樫 牧人 亀田総合病院 総合内科

●責任編集 井澤 純一

沖縄県立八重山病院 内科

佐々木 陽典

東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター
(内科)

八重樫 牧人

亀田総合病院 総合内科

●編集委員 平岡 栄治 (東京ベイ・浦安市川医療センター 総合内科)

八重樫 牧人 (亀田総合病院 総合内科)

清田 雅智 (飯塚病院 総合診療科)

石山 貴章 (セントルイス大学 内科 ホスピタリスト部門)

筒泉 貴彦 (愛仁会高槻病院 総合内科)

石丸 直人 (愛仁会明石医療センター 総合内科)

藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学 救急医学/東京ベイ・浦安市川医療センター)

●顧問 徳田 安春 (臨床研修病院群プロジェクト群馬沖縄)

13. ② 胸腔ドレナージ (治療): 手技の実際と気胸の治療, 合併症の対応——499

●津山 頌章 亀田総合病院 感染症科

●八重樫 牧人

14. ① 腹腔穿刺 (診断): 注意すべき症例と腹水検査からの鑑別を整理しておく——511

●山田 篤史・佐々木 陽典 東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター (内科)

14. ② 腹腔ドレナージ (治療): エコーガイド下で行い, アルブミンで予後の悪化を予防する——519

●山田 篤史・佐々木 陽典

腰椎・関節・骨髄穿刺

15. 失敗しない腰椎穿刺: 正しい体位を維持し, 針が常に正中を通ることを心掛ける——525

●小森 大輝 順天堂大学医学部 総合診療科学講座

●山田 徹 東京医科歯科大学医学部附属病院 総合診療科

16. ホスピタリストが行う関節穿刺: 見て学び, 「素振り」に慣れて実際の診療に臨みたい——537

●六反田 諒 亀田総合病院 リウマチ・膠原病・アレルギー内科

17. 困ったときの骨髄穿刺と骨髄生検: 適応と手技を理解すれば, 困難症例に対する有効な切り札となる——545

●安部 涼平 国家公務員共済組合連合会 立川病院 内科

[ミニコラム②] 僻地離島で役立った骨髄穿刺と骨髄生検: 「地域における医療の限界」を担う立場から——554

●中島 知・井澤 純一 沖縄県立八重山病院 内科

その他ホスピタリストに求められ得る手技

[コラム①] 皮膚生検: 皮膚科医の視点からみた皮膚生検の判断基準——558

●江原 瑞枝 東京ベイ・浦安市川医療センター 皮膚科

[コラム②] 心嚢ドレナージ: 専門外でも「もしも」に備えておきたい——564

●伊志嶺 徹 沖縄県立中部病院 心臓血管外科

[コラム③] 胃管留置: 合わせ技で挿入位置もしっかり確認し, 合併症を回避せよ——569

●酒井 達也 沖縄県立八重山病院 総合診療科

●井澤 純一

[コラム④] 尿道カテーテル留置: 不要な留置を避けたいので, 留置後は日々, 抜去可能か検討する——574

●酒井 達也

●井澤 純一

連載

根拠のない習慣

第5回 | 神経学的異常所見のない失神に対して頭部CT検査は必要か?——580

●中島 悠貴 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 消化器内科

Clinician Update ——584

●官澤 洋平・石丸 直人 愛仁会明石医療センター 総合内科

掲示板——375 書評——563 次号目次——592

編集人——山下 隆久, 神田 奨, 荷輪 洋志

レイアウト・表紙デザイン——公和図書デザイン室/イラスト——ソルティフロッグ デザインスタジオ (サトウヒロシ)

